

重要：このクイックリファレンスガイド（QRG）では、内視鏡を正しくリプロセスするために必要な手順の概要を説明します。
詳しい手順は取扱説明書（洗浄 / 消毒 / 滅菌編）を参照してください。

参照：

第 5 章

▶5.5.3～5.5.6

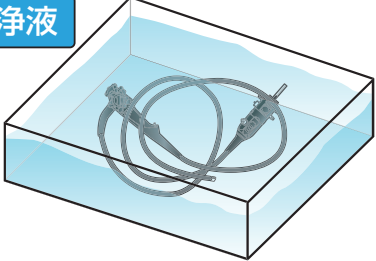
警告：リプロセスを行う場合は、適切な保護具を着用してください。保護具の着用が不適切な場合、感染の原因となるおそれがあります。
付属品のリプロセスは取扱説明書を参照して実施してください。

A. 外表面の洗浄とブラッシング

5.5.3～5.5.4.4

1 洗浄液に浸漬する

洗浄液



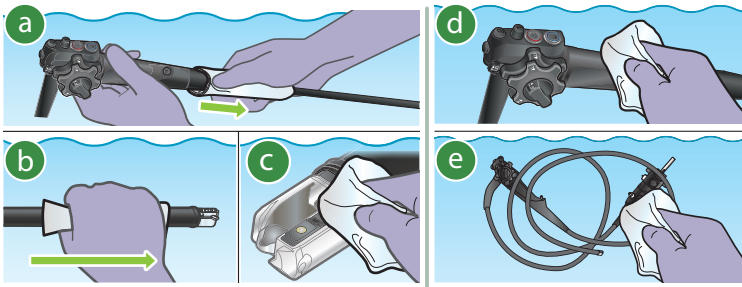
a 新しい洗浄液を準備します。

b 内視鏡を完全に浸漬します。

洗浄中は内視鏡が清潔な洗浄液に完全に浸漬した状態を常に保ってください。

2 内視鏡を拭く

内視鏡が完全に浸漬した状態を保ちます。



挿入部の各部を拭きます。

a 軟性部

c 先端部

b わん曲部

各部を拭きます：

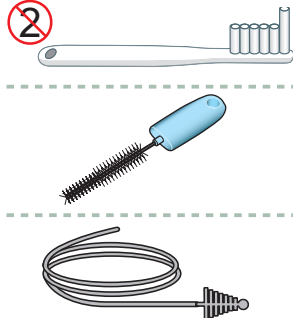
d 操作部

e すべての外表面

3 洗浄ブラシを点検する

5.5.4.1

②



先端部用洗浄ブラシ
WB1318DE（再使用禁止）

シリンダー用洗浄ブラシ
WB11003FW（再使用可能）

吸引チャンネル用洗浄ブラシ
WB7024FW（再使用可能）

洗浄ブラシに異常がないことを確認します。

損傷や異常があった洗浄ブラシは新品に交換してください。

再使用禁止の洗浄ブラシは、使用後に廃棄してください。

4 先端部を（先端部用洗浄ブラシで）ブラッシングする

5.5.4.2 (1)～(10)

鉗子起立台を下げた状態



上げる

鉗子起立台を下げる

各 10 回

a 送気送水ノズル

b 対物レンズ

c ライトガイド

溝の周囲を 10 回

a ×10

b ×10

c ×10

各 10 回

a 鉗子起立台の左の切り欠き

b 鉗子起立台の右の切り欠き

鉗子起立台の前面 10 回

a ×10

b ×10

鉗子起立台を上げた状態



下げる

鉗子起立台を上げる

各 10 回

a 鉗子起立台の裏面

b 左側の溝

c 右側の溝

上げた状態

回転させる

裏側

鉗子起立台の付け根

鉗子起立台の付け根を上に向けて、鉗子起立台の付け根の裏側を 10 回

a ×10

b ×10

c ×10

5 先端部に注入する

5.5.4.2 (11)～(13)

鉗子起立台を上げた状態

上げた状態

鉗子起立台の付け根

60mL (30mL × 2回)

裏側

鉗子起立台を上げた状態で回転させる

鉗子起立台の付け根を上に向けて、鉗子起立台の付け根の裏側に 60 mL (30 mL × 2 回) の洗浄液を注入します。

鉗子起立台を下げた状態

レバー

上げる

鉗子起立台を下げる

60mL (30mL × 2回)

鉗子起立台 前面

鉗子起立台を下げる。鉗子起立台の前面に 60 mL (30 mL × 2 回) の洗浄液を注入します。

6 (シリンダー用洗浄ブラシで) 開口部をブラッシングする

5.5.4.3

a 吸引シリンダー

b 送気送水シリンダー

c 鉗子口

回転させながら洗浄ブラシを挿入し、引き抜く

開口部からブラシを引き抜いた後、毎回ブラシ部分の汚れを除去する

3回繰り返す

ブラシ部分が半分隠れるまで、ブラシを回転させながら挿入します。ブラシを回転させながらゆっくり引き抜きます。ブラシ部分の汚れを除去します。

3回繰り返す

ブラシの先端がシリンダーの底に突き当たるまで、ブラシを回転させながら挿入します。ブラシを回転させながらゆっくり引き抜きます。ブラシ部分の汚れを除去します。

3回繰り返す

ブラシを回転させながら、鉗子口に完全に挿入します。ブラシを回転させながらゆっくり引き抜きます。ブラシ部分の汚れを除去します。

7 (吸引チャンネル用洗浄ブラシで) 吸引チャンネルをブラッシングする

5.5.4.3

a 先端部に向かってブラッシングします：

側壁の穴

3回繰り返す

側壁の穴から先端部へ洗浄ブラシをゆっくりと挿入します。洗浄ブラシを引き抜く前にブラシ部分の汚れを除去します。洗浄ブラシをゆっくり引き抜きます。もう一度ブラシ部分の汚れを除去します。

b 吸引コネクターに向かってブラッシングします：

底面の穴

3回繰り返す

底面の穴から吸引コネクターへ洗浄ブラシをまっすぐゆっくりと挿入します。洗浄ブラシを引き抜く前にブラシ部分の汚れを除去します。洗浄ブラシをゆっくり引き抜きます。もう一度ブラシ部分の汚れを除去します。

* 取扱説明書（洗浄 / 消毒 / 滅菌編）の記載箇所は変更されることがあります。

897N209717B

裏面に続く ▶

重要：このクイックリファレンスガイド（QRG）では、内視鏡を正しくリプロセスするために必要な手順の概要を説明します。
詳しい手順は取扱説明書（洗浄 / 消毒 / 滅菌編）を参照してください。

参照：
第 5 章
▶ 5.5.3 ~ 5.5.6

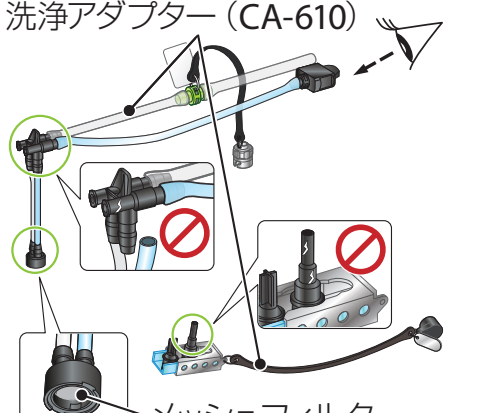
チャンネルの洗浄

5.5.5.1 ~ 5.5.5.4

1 洗浄アダプターを点検する

5.5.5.1
5.5.5.2

洗浄アダプター（CA-610）



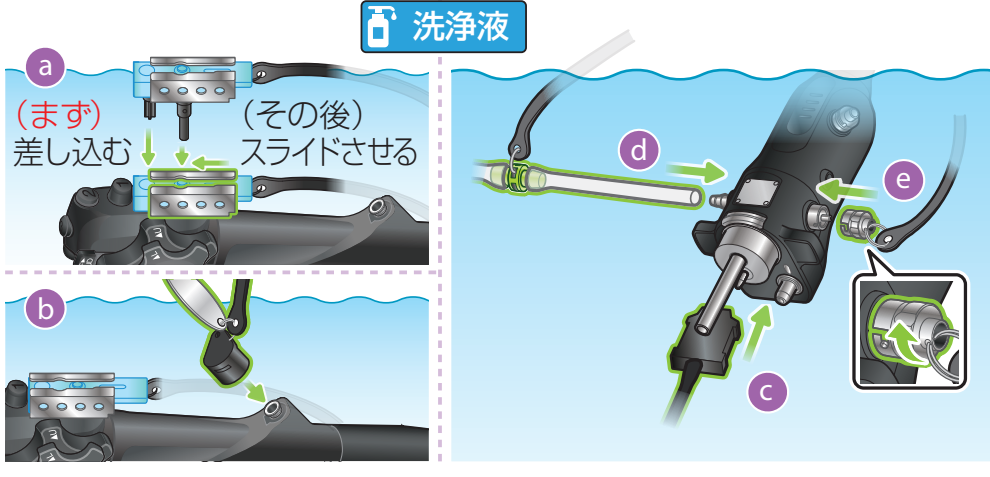
メッシュフィルター

- 洗浄アダプターの外観に異常がないことを確認します。
- メッシュフィルターが目詰まりしていないことを確認します。

2 洗浄アダプターを取り付ける

5.5.5.3

洗浄液



a 管路プラグを取り付けます。 c 送気管ポートを取り付けます。

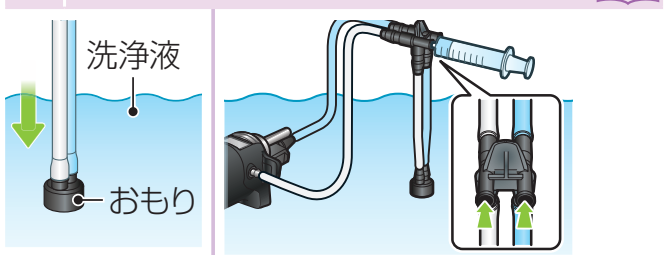
b 鉗子口栓を取り付けます。 d 吸引チャンネル用チューブを取り付けます。

e タンク受けキャップを取り付けます。

3 管路に洗浄液を注入する

5.5.5.4
(1)~(3)

洗浄液



おもり

180mL (6×30mL) 90mL (3×30mL)

以下の管路に洗浄液を注入します：

a 吸引 180mL (6 × 30mL)

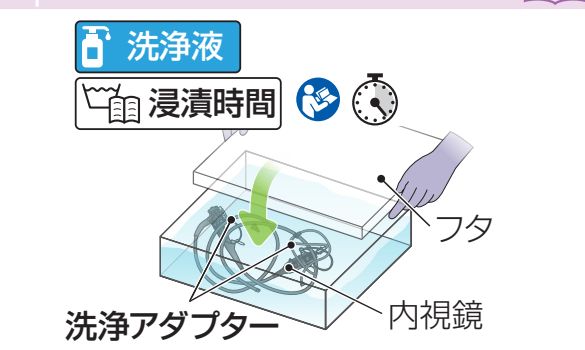
b 送気送水 90mL (3 × 30mL)

4 洗浄液に浸漬する

5.5.5.4
(4)

洗浄液

浸漬時間



フタ

洗浄アダプター

内視鏡

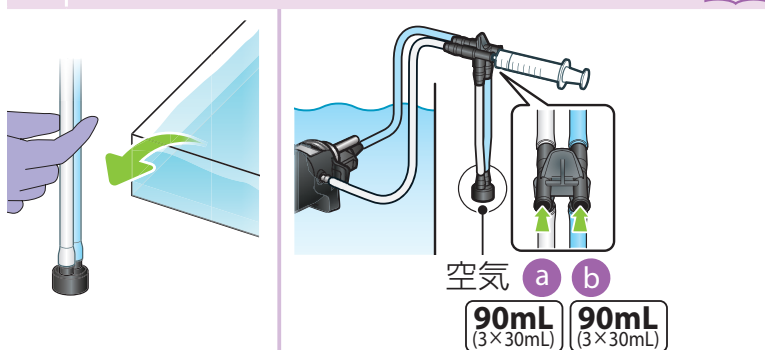
a 洗浄液製造業者が推奨する浸漬時間を確認します。

b 洗浄アダプターを取り付けた状態で内視鏡を浸漬します。

5 管路に空気を注入する

5.5.5.4
(5)~(7)

空気



おもり

90mL (3×30mL) 90mL (3×30mL)

以下の管路に空気を注入します：

a 吸引 90mL (3 × 30mL)

b 送気送水 90mL (3 × 30mL)

⚠ 空気を注入後、ただちに内視鏡の管路のすすぎを行います。

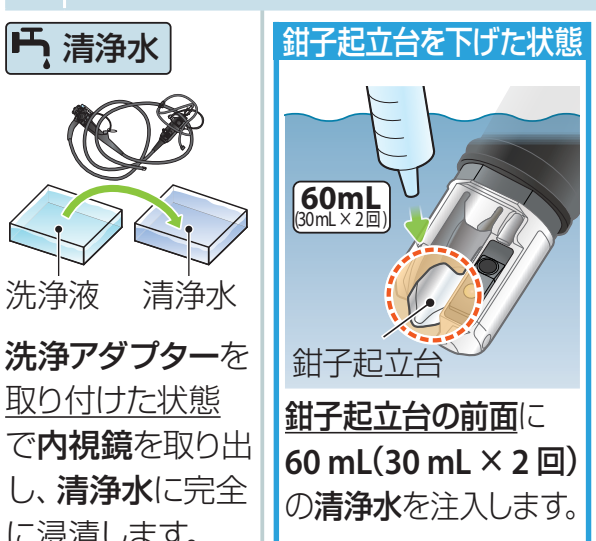
C. すすぎ

5.5.6

1 管路に清浄水を注入する

5.5.6
(1)~(6)

清浄水



洗浄液 清浄水

洗浄アダプターを取り付けた状態で内視鏡を取り出し、清浄水に完全に浸漬します。

鉗子起立台を下げた状態

60mL (30mL × 2回)

鉗子起立台

鉗子起立台の前面に60 mL (30 mL × 2回) の清浄水を注入します。

清浄水

おもり

180mL (6×30mL) 90mL (3×30mL)

以下の管路に清浄水を注入します：

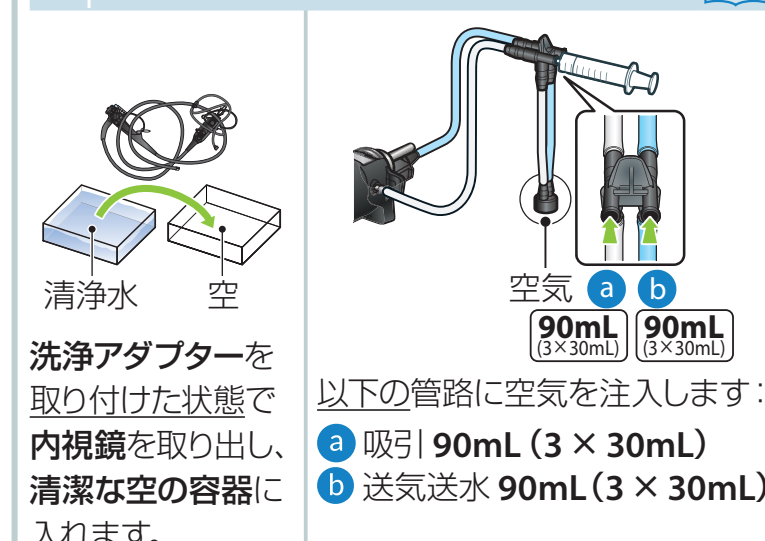
a 吸引 180mL (6 × 30mL)

b 送気送水 90mL (3 × 30mL)

2 管路に空気を注入する

5.5.6
(7)~(9)

清浄水 空



洗浄アダプターを取り付けた状態で内視鏡を取り出し、清潔な空の容器に入れます。

空気

90mL (3×30mL) 90mL (3×30mL)

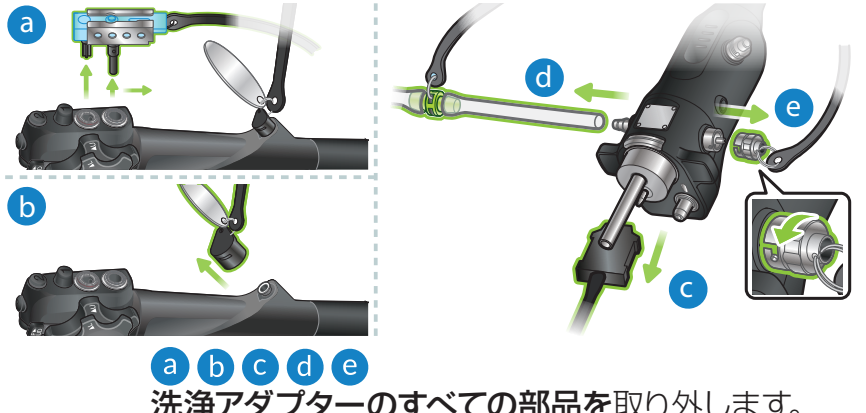
以下の管路に空気を注入します：

a 吸引 90mL (3 × 30mL)

b 送気送水 90mL (3 × 30mL)

3 洗浄アダプターを取り外す

5.5.6
(10)



a b c d e

洗浄アダプターのすべての部品を取り外します。

4 外表面を拭き、点検する

5.5.6
(11)~(13)

内視鏡

洗浄アダプター

拡大鏡

a 内視鏡と洗浄アダプターの表面を乾いた清潔なガーゼで拭きます。

b 鉗子起立台を上げた位置と下げた位置の両方で、先端部、特に鉗子起立台と鉗子起立台のくぼんだ部分に汚れが付着していないことを拡大鏡で確認します。汚物が付着している場合は、マニュアル洗浄の手順を繰り返します。